



# 平成 29 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 1 月 30 日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5334 URL <https://www.ngkntk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 尾堂 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部部长 (氏名) 磯部 謙二 (TEL) 052(872)5918  
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 2 月 10 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 29 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 3 四半期	272,918	△5.2	39,377	△23.7	41,968	△19.3	31,052	21.3
28 年 3 月期第 3 四半期	287,913	11.7	51,627	10.9	52,034	△1.9	25,606	△14.0

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 3 四半期 41,392 百万円(100.3%) 28 年 3 月期第 3 四半期 20,664 百万円(△52.4%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 3 月期第 3 四半期	144.39	—
28 年 3 月期第 3 四半期	117.66	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月期第 3 四半期	568,769	363,234	63.4
28 年 3 月期	526,103	341,044	64.4

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 3 四半期 360,879 百万円 28 年 3 月期 338,870 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 3 月期	—	21.00	—	21.00	42.00
29 年 3 月期	—	21.00	—		
29 年 3 月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通 期	350,800	△8.5	47,100	△28.9	44,300	△31.3	30,000	△2.6	138.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	223,544,820株	28年3月期	223,544,820株
29年3月期3Q	11,320,221株	28年3月期	5,923,363株
29年3月期3Q	215,058,581株	28年3月期3Q	217,622,519株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ※ 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定について

平成 28 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間に行われた企業結合について、前第 3 四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末において暫定的な会計処理の確定を行っていません。また、平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結会計期間に行われた企業結合について、平成 29 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間において暫定的な会計処理の確定を行っていません。

比較情報の平成 28 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、これらの暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

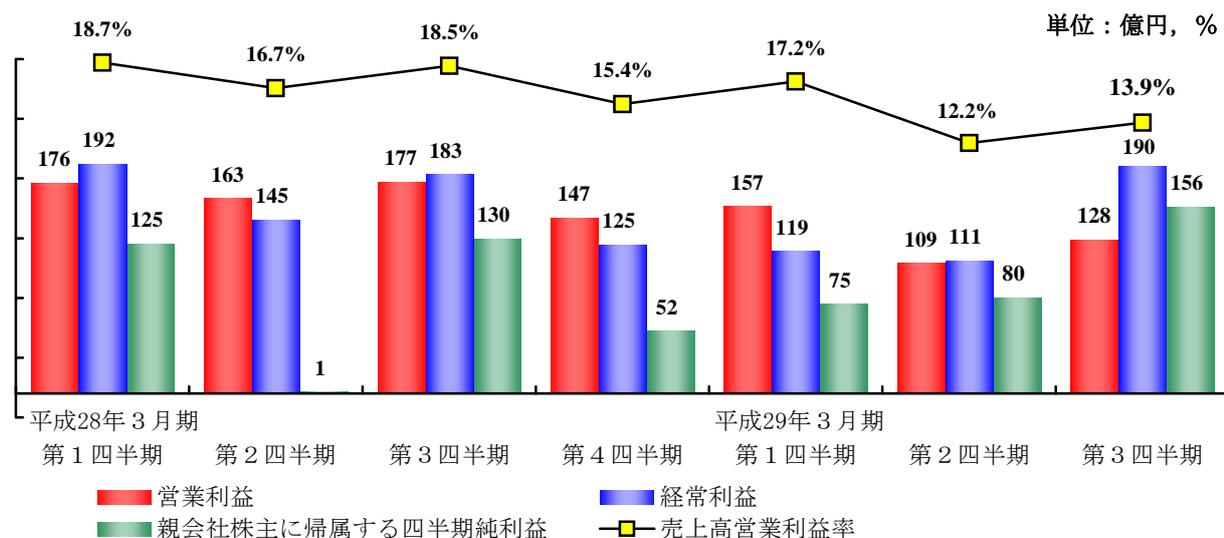
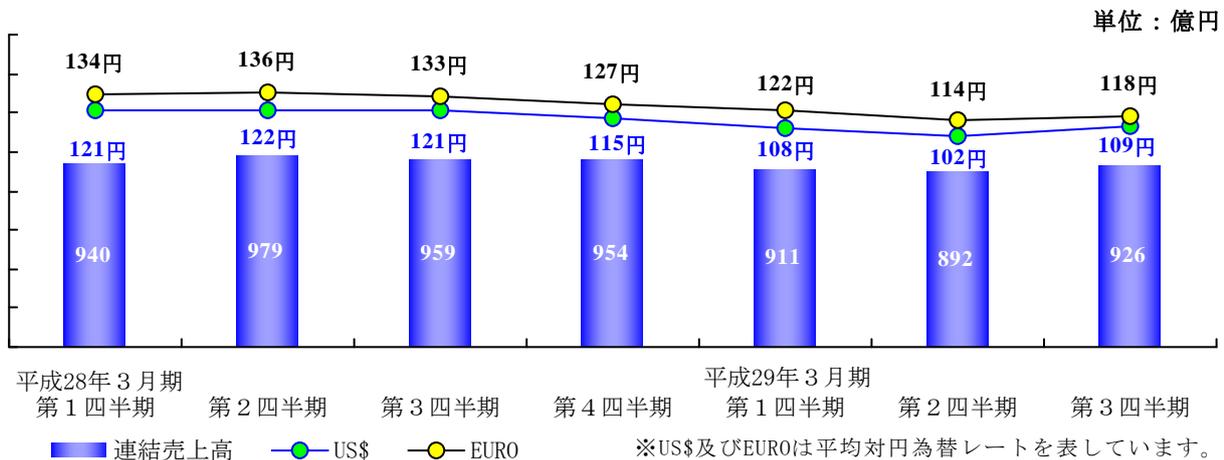
### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、中国においては自動車販売の大幅増加はあるものの12月に発表された小型車の減税措置の縮小により引き続き景気減速基調は変わらず、公共投資が景気の下支えとなる構図となっています。一方、米国においてはトランプ新政権の経済政策への期待などから株価が上昇、所得環境の改善持続から個人消費は底堅く推移し、企業収益の改善が設備投資の持ち直しに寄与しました。欧州においては企業業績、家計とも底堅く推移しましたが、政治情勢の不安から先行き懸念は拭えない状況となっています。わが国経済においては生産・輸出が持ち直し、また米国大統領選挙後の円安・株高を受け景況感は改善しています。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界においては、世界の自動車販売は中国及び欧州市場の主要国では堅調に推移しましたが、米国においては前年度に対しほぼ横ばいで推移しています。一方わが国においては軽自動車の販売不振はあるものの、販売台数全体では前年度と比べほぼ横ばいの水準となっています。

また半導体業界においては、特にスマートフォン市場において中国メーカーが躍進しています。

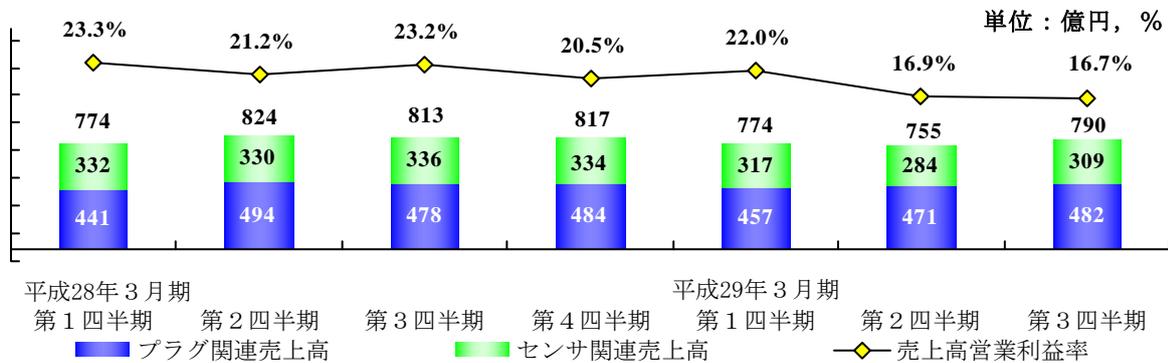
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,729億18百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益393億77百万円（前年同期比23.7%減）、経常利益419億68百万円（前年同期比19.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は310億52百万円（前年同期比21.3%増）となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、中国、欧州を中心として自動車販売が伸びており、新車組付用製品の販売は堅調に推移しました。また、補修用製品の販売も中国市場及びASEAN地域での好調を受け堅調に推移しましたが、為替相場においては前年度に比べ円高に振れていることから売上高及び営業利益の減少要因となっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,319億68百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は430億34百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

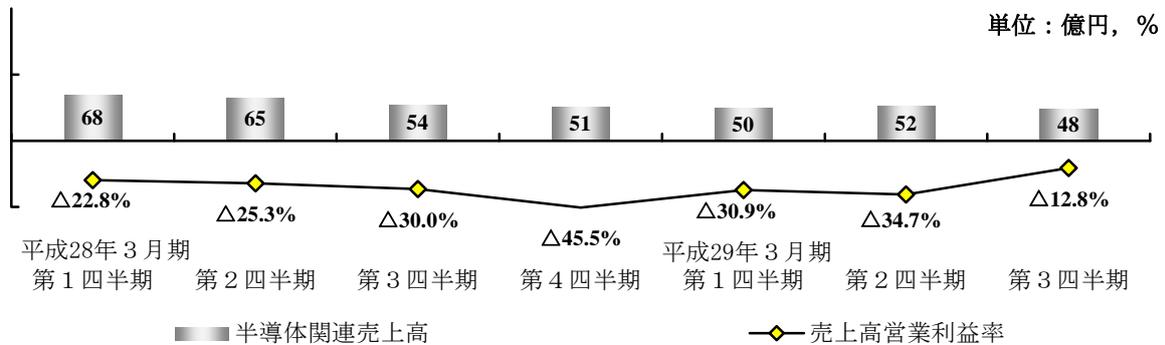


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、客先所要の低迷により売上高は伸び悩みましたが、収益面では生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い改善に努めました。

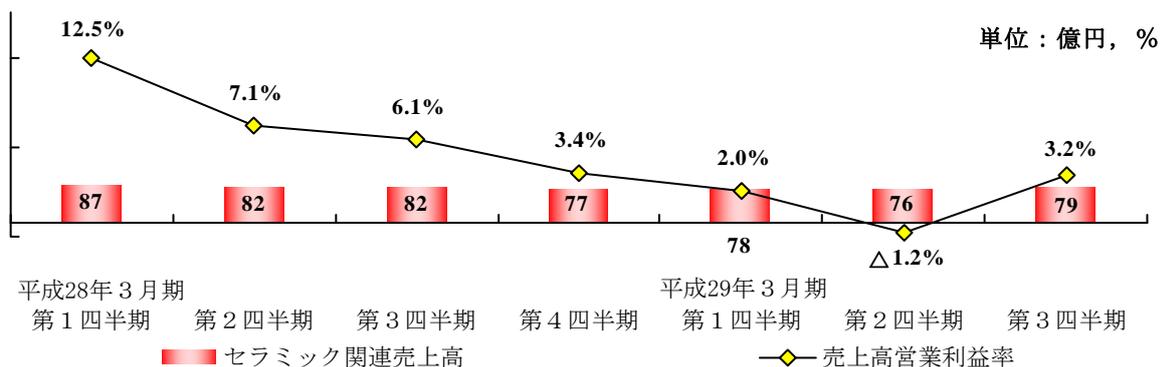
この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は149億58百万円（前年同期比20.2%減）、営業損失は39億51百万円（前年同期は48億21百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、工作機械向け及び産業機器向けの製品においては客先所要が低迷し売上高が伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は232億69百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は3億21百万円（前年同期比85.2%減）となりました。



**(2) 財政状態に関する説明**

## (資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期第3四半期	293,756	275,012	568,769	205,535	363,234
28年3月期	278,313	247,790	526,103	185,058	341,044

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 426 億 65 百万円増加の 5,687 億 69 百万円となりました。これは、主として設備投資による有形固定資産の増加や時価評価等による投資有価証券の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末比 204 億 76 百万円増加の 2,055 億 35 百万円となりました。これは、主として借入金による資金調達によるものです。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比 221 億 89 百万円増加の 3,632 億 34 百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年3月期第3四半期	34,848	△42,376	△3,892	59,607
28年3月期第3四半期	34,702	△59,394	25,187	75,143

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 1 億 45 百万円増加の 348 億 48 百万円となりました。これは、主として法人税等の支払額の減少や売上債権の増減額の影響によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 170 億 18 百万円減少の 423 億 76 百万円となりました。これは、主として前年同期は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、38 億 92 百万円となりました（前年同期は 251 億 87 百万円の収入）。これは、主として前年同期は社債の発行及び長期借入れによる収入があったことによるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 1 億 27 百万円を控除した純額で 115 億 48 百万円減少し、596 億 7 百万円となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

平成 28 年 10 月 31 日に公表した業績予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### （4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,984	47,248
受取手形及び売掛金	74,942	85,800
有価証券	59,548	49,202
たな卸資産	82,122	89,767
繰延税金資産	12,080	10,370
その他	12,040	11,852
貸倒引当金	△406	△485
流動資産合計	278,313	293,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,443	62,794
機械装置及び運搬具（純額）	73,286	84,176
土地	19,764	19,811
建設仮勘定	13,393	9,251
その他（純額）	3,586	3,842
有形固定資産合計	168,473	179,877
無形固定資産		
のれん	9,372	8,819
ソフトウェア	3,554	3,665
その他	10,498	9,950
無形固定資産合計	23,426	22,436
投資その他の資産		
投資有価証券	53,064	69,482
繰延税金資産	987	1,327
その他	1,966	2,017
貸倒引当金	△127	△128
投資その他の資産合計	55,890	72,699
固定資産合計	247,790	275,012
資産合計	526,103	568,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,049	28,941
短期借入金	11	8,165
リース債務	174	123
未払法人税等	2,038	5,969
その他	36,062	32,628
流動負債合計	66,335	75,828
固定負債		
社債	55,000	55,000
長期借入金	24,859	32,848
リース債務	167	77
退職給付に係る負債	32,185	31,506
繰延税金負債	5,325	9,239
その他	1,185	1,035
固定負債合計	118,723	129,706
負債合計	185,058	205,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,824	54,825
利益剰余金	245,463	267,461
自己株式	△7,647	△17,647
株主資本合計	340,510	352,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,733	29,417
為替換算調整勘定	△15,640	△13,470
退職給付に係る調整累計額	△8,734	△7,575
その他の包括利益累計額合計	△1,640	8,371
非支配株主持分	2,174	2,354
純資産合計	341,044	363,234
負債純資産合計	526,103	568,769

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	287,913	272,918
売上原価	183,915	181,988
売上総利益	103,997	90,930
販売費及び一般管理費	52,370	51,552
営業利益	51,627	39,377
営業外収益		
受取利息	1,214	850
受取配当金	1,177	1,223
持分法による投資利益	—	417
その他	1,264	1,259
営業外収益合計	3,656	3,750
営業外費用		
支払利息	245	229
持分法による投資損失	197	—
為替差損	1,852	48
休止固定資産減価償却費	162	150
その他	792	730
営業外費用合計	3,250	1,159
経常利益	52,034	41,968
特別利益		
固定資産売却益	63	470
特別利益合計	63	470
特別損失		
固定資産処分損	245	595
投資有価証券評価損	—	64
和解金	14,837	99
特別損失合計	15,082	759
税金等調整前四半期純利益	37,015	41,679
法人税、住民税及び事業税	7,517	8,427
法人税等調整額	3,660	1,891
法人税等合計	11,178	10,318
四半期純利益	25,836	31,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,606	31,052

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	25,836	31,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	468	6,673
為替換算調整勘定	△5,744	2,242
退職給付に係る調整額	371	1,155
持分法適用会社に対する持分相当額	△268	△40
その他の包括利益合計	△5,172	10,031
四半期包括利益	20,664	41,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,737	41,064
非支配株主に係る四半期包括利益	△73	327

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	37,015	41,679
減価償却費	11,842	14,347
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△206	825
受取利息及び受取配当金	△2,391	△2,073
支払利息	245	229
持分法による投資損益(△は益)	197	△417
固定資産処分損益(△は益)	182	124
投資有価証券評価損益(△は益)	—	64
売上債権の増減額(△は増加)	3,159	△10,036
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,594	△7,801
仕入債務の増減額(△は減少)	138	155
その他	△294	158
小計	47,292	37,258
利息及び配当金の受取額	2,708	1,859
利息の支払額	△205	△241
法人税等の支払額	△15,091	△4,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,702	34,848
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,493	△416
有価証券の純増減額(△は増加)	2,857	△8,073
有形固定資産の取得による支出	△29,898	△26,759
無形固定資産の取得による支出	△753	△884
投資有価証券の取得による支出	△238	△7,726
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,104	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△37,415	—
その他	1,441	1,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,394	△42,376
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△654	7,453
長期借入れによる収入	19,848	8,000
社債の発行による収入	29,859	—
社債の償還による支出	△15,000	—
自己株式の取得による支出	△6	△10,000
配当金の支払額	△8,478	△9,049
その他	△380	△295
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,187	△3,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	△892	△127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△397	△11,548
現金及び現金同等物の期首残高	75,540	71,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,143	59,607

**(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項****(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

**(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)**

当社は、平成 28 年 7 月 29 日開催の取締役会決議に基づき、自己株式 5,396,600 株の取得を行っています。この結果、当第 3 四半期連結累計期間において、自己株式が 10,000 百万円増加し、当第 3 四半期連結会計期間末において自己株式が 17,647 百万円となっています。

**(四半期連結貸借対照表に関する注記)**

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。今後、新たな事実が判明した場合は追加の損失が発生する可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難です。

**(セグメント情報等)**

セグメント情報

I 前第 3 四半期連結累計期間(自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 12 月 31 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス 半 導 体	セラミック	セラミックス 関連					
売上高									
外部顧客への売上高	241,119	18,743	25,113	43,857	284,977	2,936	287,913	—	287,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	241,119	18,743	25,113	43,857	284,977	2,936	287,913	—	287,913
セグメント利益 又は損失(△)	54,403	△4,821	2,168	△2,652	51,750	△122	51,627	—	51,627

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	半導体	テクニカルセラミックス セラミック	関連 計					
売上高									
外部顧客への売上高	231,968	14,958	23,269	38,227	270,196	2,721	272,918	—	272,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	231,968	14,958	23,269	38,227	270,196	2,721	272,918	—	272,918
セグメント利益 又は損失(△)	43,034	△3,951	321	△3,630	39,404	△26	39,377	—	39,377

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成28年4月より、テクニカルセラミックス関連事業において、従来、半導体関連に含めていた半導体製造装置用製品につきましてはセグメント管理区分を見直し、セラミック関連へ変更しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。